Square（スクエア）を店舗に導入する方法と利用開始までの流れ

2026 年 10 月版 ・ kiki-designing.com/column/square-store-introduction/

Square（スクエア）は、スマホやタブレットにアプリを入れ、カードリーダーと組み合わせるだけで、クレジットカード・電子マネー・QR コード決済を始められるサービスです。月額固定費がかからず申し込みはオンラインで完結するため、これからキャッシュレスを導入したい小規模店舗・個人事業主に向いています。

本記事では、申し込みから利用開始までの流れ、決済の使い方、審査基準、メリット・デメリット、手数料、入金サイクルを解説します。要点は次の 3 つです。

- 申し込みはオンライン完結。追加書類がある場合の審査は約 1〜2 営業日
- 対面決済の手数料は条件を満たせば 2.5%〜（満たさない場合は 3.25%〜など）※2026 年 10 月時点
- 入金は三井住友・みずほなら最短翌営業日、その他は毎週水曜締め・同週金曜振込

目次

1. Square（スクエア）とは
2. Square を店舗に導入する方法｜利用開始までの流れ
3. Square の使い方・決済方法
4. Square の審査基準と導入できない業種
5. Square を店舗に導入するメリット
6. Square を店舗に導入するデメリット

7. 対応ブランドと加盟店決済手数料
8. 入金サイクルと振込手数料
9. 導入事例と店舗運営者様の声
10.まとめ
11.よくある質問

Square（スクエア）とは

Square は決済・レジ・売上管理をまとめて始められるサービスで、次の 3 つで構成されます。

- **Square POS レジアプリ**：スマホ・タブレットに入れて会計するレジ
- **カードリーダー・決済端末**：カードやスマホを読み取る機器（リーダー、ターミナル、ハンディなど）
- **管理画面**：売上・入金・在庫を確認する Web 画面

従来の POS レジは初期費用が大きな負担でしたが、手持ちの端末をそのまま使えるため導入しやすくなっています。アカウント作成とアプリ利用は無料で、費用は端末代と決済手数料が中心。月額固定費はかかりません。

お店で決済レジアプリ＋カードリーダー Square で処理決済・売上を一元管理登録口座へ入金最短翌営業日
Square の仕組み（レジアプリ＋カードリーダーで決済し、売上が登録口座へ入金される流れ）

端末と価格（税込）は、リーダー（第 2 世代）¥4,980、ターミナル¥39,980、ハンディ¥44,980、スタンド¥29,980、キオスク¥29,980、レジスター（第 2 世代）¥99,980。リーダー以外は分割払い（12 回・24 回）にも対応します。費用の目安は料金・費用のご案内をご覧ください。

Square を店舗に導入する方法｜利用開始までの流れ

公式サイトから無料アカウントを作成

公式サイトで無料アカウントを作成し、メールアドレス・パスワード・利用国を入力。「法人または団体」か「個人事業主」を選びます。

- 法人または団体：業種・法人情報・法人番号・住所
- 個人事業主：業種・事業または店舗名・電話番号

続いて本人情報（氏名・生年月日・電話番号など）と受取口座（名義・種別・金融機関・支店名・口座番号）を入力すれば完了です。ログイン情報は控えておき、口座は後から変更できます。

Square POS レジアプリをダウンロード

レジに使う端末へ「Square POS レジアプリ」を App Store／Google Play から無料で入手。ログインし、案内に沿って端末を有効化すれば準備完了です。審査中でも進められます。

申し込みから利用開始までの流れ

1. **Square アカウントを作成**
2. **事業について回答**（事業名・業種・カテゴリ）
3. **アカウントを有効化**：「決済受付の手続きをはじめる」→「はじめる」→「法人／店舗」または「個人事業主」を選択。追加書類があると審査に約 1〜2 営業日
4. **銀行口座を認証**（3 営業日以内にメール通知）
5. **カード会社の審査**：Visa・Mastercard＝三井住友カード、American Express＝American Express International、JCB・Diners Club・Discover＝JCB。状況により JCB・Diners・Discover が使えない場合あり

1 アカウント作成公式サイトで無料登録 2 事業について回答業種・事業名など 3 アカウント有効化法人／個人事業主を選択 4 口座を認証 3 営業日以内に通知 5 カード会社の審査ブランドごとに審査 6 決済スタートアプリで会計申し込みから利用開始までの流れ（アカウント作成→事業回答→有効化→口座認証→カード会社審査→決済開始）squareup.comSquare POS レジアプリの初期設定画面 Square POS レジアプリの初期設定・端末有効化画面（画面キャプチャ差し替え用）

> 書類・日数は状況で変わります

> 必要な書類や審査日数は事業形態により異なります。最新の条件は公式で確認を。端末の無料配布などのキャンペーンも時期で変わるため、購入前にご確認ください。

Square の使い方・決済方法

決済は「金額入力→カード読み取り→サインまたは暗証番号」の 3 ステップです。

Square Reader を Bluetooth で接続

アプリで「設定」→「カードリーダー」→「リーダーに接続」の順に進め、端末とリーダーを Bluetooth 接続します。一度つなげば以降はスムーズです。

IC チップ搭載クレジットカードの決済

1. 商品または金額を入力し「お会計」をタップ
2. 案内に従ってカードを読み取る
3. サインまたは暗証番号を入力
4. 完了を確認

読み取り方法は端末やカードで少し異なりますが、画面の案内に従えば問題ありません。

磁気ストライプのみのクレジットカードの決済

IC チップがなく磁気ストライプのみのカードは、対応するリーダーで読み取ります。金額入力までは同じで、読み取り方法だけが変わります。

1 金額を入力商品または任意の金額 2 カードを読み取る画面の案内に従って 3 サイン／暗証番号お客様が入力 4 決済完了控えを渡すカード決済の流れ（金額入力→カードの読み取り→サインまたは暗証番号→決済完了）

> 読み取りに迷ったら

> 読み取り方は端末やカードで異なります。うまくいかないときはカードの向きや挿し込み方を確認してください。

Square の審査基準と導入できない業種

アカウント作成後に審査があり、業種や事業形態が基準に沿っているか確認されます。まっとうな事業ならほとんど問題ありませんが、次の業種は対応していません。

- 商用以外での使用／成人向けサービス／無許可の運営事業／賭博（宝くじ・カジノ等）／占い／投資・投機に関する管理事業／刺青・タトゥー／質屋業／デジタルコンテンツ／探偵業／不動産の仲介手数料／相互扶助・相互保険／ネットオークション関連 など

商用以外での使用成人向けサービス無許可の運営事業賭博（宝くじ・カジノ等）占い投資・投機に関する管理事業刺青・タトゥー質屋業デジタルコンテンツ探偵業不動産の仲介手数料インターネットオークション関連 Square を導入できない業種の例（最新の規定は公式で確認）

JCB・Diners Club・Discover は別途審査が必要で、状況によりこれら 3 ブランドが使えない場合があります。

> 対応業種は変わることがあります

> 範囲や審査内容は変更されることがあります。申し込み前に公式の最新情報を確認してください。

Square を店舗に導入するメリット

1. **低コストで始められる**：買い切り端末＋従量手数料が中心で月額固定費なし
2. **かんたん・スピーディ**：オンライン申し込み、手持ちの端末をそのままレジに
3. **集客・インバウンド対応**：主要国際ブランドに対応、QR コード決済で PayPay などにも対応

低コスト月額固定費なしかんたん導入オンライン申込・手持ち端末集客・インバウンド主要ブランド・QR 対応 Square を導入する 3 つのメリット（低コスト／かんたん導入／集客・インバウンド対応）

導入後は LINE 公式アカウントと Square 決済を組み合わせた再来店導線もつくれます。詳しくは LINE 公式・決済を活用したマーケティング支援をご覧ください。

Square を店舗に導入するデメリット

1. **分割払い・ボーナス払いは非対応（一括のみ）**：決済後の分割変更可否はカード会社の判断
2. **流通系電子マネーは非対応**：交通系 IC・iD・QUICPay・Apple Pay には対応、楽天 Edy などは非対応
3. **審査があり、一部ブランドが使えないことがある**：状況により JCB・Diners Club・Discover が不可の場合あり

端末は自分で用意・管理し、スマホのバッテリーや通信環境にも依存します。事前に把握しておけば対処できます。

対応ブランドと加盟店決済手数料

対応するクレジットブランドは Visa・Mastercard・American Express・JCB・Diners Club・Discover の 6 つです。

- **電子マネー**：交通系 IC（Suica・PASMO など 9 ブランド、PiTaPa を除く）、iD、QUICPay、Apple Pay。流通系は非対応。申し込みは店舗設定から、有効化まで通常 4〜9 日
- **QR コード決済**：PayPay・d 払い・楽天ペイ・au PAY・メルペイ・WeChat Pay・Alipay+の 7 ブランド。1 回の申し込みで全ブランド利用可

決済方法対応ブランドクレジットカード Visa／Mastercard／American ExpressJCB／Diners Club／Discover（6 ブランド）電子マネー交通系 IC（Suica・PASMO 等 9 ブランド、PiTaPa 除く）／iD／QUICPay／Apple PayQR コード PayPay／d 払い／楽天ペイ／au PAY／メルペイ／WeChat Pay／Alipay+（7 ブランド）Square の対応決済ブランド一覧（クレジット 6 ブランド／電子マネー／QR コード 7 ブランド）

2026 年 10 月時点の主な手数料は次のとおりです。

- **対面決済（クレジット・電子マネー・QR）：2.5%〜**（条件は「年間キャッシュレス決済額 3,000 万円未満」かつ「主要 6 ブランドによる対面決済」。満たさない場合は 3.25%〜またはカスタム手数料）
- **オンライン決済（e コマース API）：3.6%／請求書決済：3.25%**（手入力・定期請求書は 3.75%）
- **非対面（カード情報手入力・保存済みカード・ブラウザ決済）：3.75%／QR コード決済：3.25%**

決済方法手数料（税込）対面（クレジット・電子マネー・QR）2.5%〜（条件を満たす場合）満たさない場合は 3.25%〜などオンライン（e コマース API）3.6%請求書決済 3.25%（カード手入力・定期請求書は 3.75%）非対面（手入力・保存済みカード・ブラウザ）3.75%QR コード決済 3.25%Square の加盟店決済手数料一覧（2026 年 10 月時点・税込）

対面 2.5%〜は、Visa・Mastercard が 2024 年 11 月 1 日、JCB・American Express・Diners Club・Discover が 2025 年 1 月 16 日に 3.25%から引き下げられたもの。適用条件は「日本政府定義の中小企業」「上場企業・グループ非関連」「年間キャッシュレス 3,000 万円未満」の 3 つです。

> 自店が対象かを確認しよう

> 2.5%〜の適用は条件により変わります。自店が対象かは公式の料金ページで確認を。電子マネーの
> 料率など一部は資料により表示が分かれるため、最新の適用料率は公式でご確認ください。

入金サイクルと振込手数料

- **三井住友銀行・みずほ銀行**：最短翌営業日（0:00〜23:59 の売上）
- **その他の金融機関**：毎週水曜締め・同週金曜振込

振込手数料は無料（Square 負担）。即時入金サービス（手数料 1.5%）も利用できます。

決済 0:00〜23:59 の売上三井住友・みずほ最短翌営業日その他の金融機関毎週水曜締め振込同週金曜・手数料無料 Square の入金サイクル（三井住友・みずほ＝最短翌営業日／その他＝水曜締め金曜振込）

導入事例と店舗運営者様の声

Square 公式サイトで紹介されている導入事例の一部です。

- **茶道体験カメリア（京都・茶道体験）**： 外国人向けでカード決済中心。導入の手軽さと翌営業日入金の速さが魅力
- **大山崎 COFFEE ROASTERS（カフェ）**： 持ち運べるためコーヒー豆の配達時にも決済でき、完了確認もしやすい

- **サロン macaroni coast（サロン）**： 来店客の約 7 割がカード決済。会計がスムーズで評判も高い

茶道体験カメリア京都・茶道体験大山崎 COFFEE ROASTERS カフェサロン macaroni coast サロン Square の導入事例（茶道体験・カフェ・サロンでの活用シーン）

私たちの制作・運用の実績は制作実績でもご紹介しています。

まとめ

Square は、手持ちの端末と手軽なカードリーダーで低コストにキャッシュレスを始められるサービスです。申し込みはオンライン完結、追加書類時も審査は約 1〜2 営業日が目安、手数料は条件を満たせば対面 2.5%〜、入金は最短翌営業日と、小規模店舗に使いやすい仕組みです。

導入前に、2.5%〜の対象か、使いたい支払い方法に対応しているか、分割非対応で問題ないか、導入できない業種に該当しないかを確認しましょう。導入後は決済データを集客・売上改善に活かすことが重要です。導線づくりはマーケティング支援、費用の目安は料金・費用のご案内、実績は制作実績、サイト計測は Google アナリティクス（GA4）の設定方法をご覧ください。

PDF をダウンロード

よくある質問

Q. Square は個人事業主でも導入できますか?

はい。申し込み時に「個人事業主」を選び、事業または店舗名・電話番号などを入力して手続きします。

Q. 申し込みから利用開始までどのくらいかかりますか?

アカウント作成は短時間で完了。追加書類がある場合は審査に約 1〜2 営業日、口座認証は 3 営業日以内にメール通知が目安です。カード会社審査は別途です。

Q. 決済手数料はどのくらいですか?

2026 年 10 月時点で、対面は 2.5%〜（条件を満たさない場合は 3.25%〜など）、オンライン（e コマース

API）3.6%、請求書 3.25%（手入力・定期請求書 3.75%）、非対面 3.75%、QR コード 3.25%です。

Q. Suica や PayPay は使えますか?

交通系 IC（Suica・PASMO など 9 ブランド、PiTaPa 除く）、iD、QUICPay、Apple Pay に対応。QR は PayPay・d 払い・楽天ペイ・au PAY・メルペイ・WeChat Pay・Alipay+の 7 ブランドに対応します。楽天 Edy などの流通系は非対応です。

Q. 分割払いには対応していますか?

一括払いのみで、分割・ボーナス払いには対応していません。決済後にカード会社側で分割に変更できるかは、カード会社の判断によります。

Q. 入金はいつ反映されますか?

三井住友・みずほなら最短翌営業日（0:00〜23:59 の売上）、その他は毎週水曜締め・同週金曜振込。振込手数料は無料、即時入金（1.5%）も利用できます。

Q. 導入できない業種はありますか?

アダルトサービス、賭博、占い、タトゥー、質屋業、探偵業、ネットオークション関連などが対象外です。範囲は変更されることがあるため公式でご確認ください。

Q. 端末は何を選べばよいですか?

まずは Square リーダー（第 2 世代・¥4,980 税込）がおすすめ。レジ業務が増えたらターミナルやレジスターを検討しましょう。リーダー以外は分割払い（12 回・24 回）にも対応します。